

本レジュメについて

これ以降は、スマホ&タブレット講習を全く初めて開講されるに当たり、どんな風に授業を進めて行けば良いか分からずにお困りの方用に書かせていただきます。

目標としては、レジュメは「その 1」～「その 20」程度までご提供できると良いなと考えております。(これが、その 1 です)

また、この部分では、こんな風になっているなどのアドバイスがいただける場合は、是非、LINE グループ内でアドバイスをお願いしたいと思います。

これ以降は、弊社テキストに沿って書かせていただきます。

原則として、集合クラス用は未製本形式のテキスト、先生用及び個別授業用は製本形式でのご提供にさせていただきます。

違いは、生徒さん用は極力価格を低く抑えるため(1回数百円)、画像を省いたり、小さくしたりしています。

未製本形式のテキストは、価格を少しでも抑えるため、3部単位でご準備させていただきますので、クラスの人数に合わせてご利用いただければと思います。

1冊分を一度にお渡しする方法ではなく、進度に応じてお渡しいただけるようにという意味もあって、未製本にしております。

これ以降、見出しは製本形式(以後、先生用と表記)のテキストに合わせて表示させていただきます。

テキストとは関係ありませんが、講習は、ティータイムで利用するような、小さなテーブルが1個あれば良いかと思います。

休憩テーブルを置くスペースがない場合は、ワゴンテーブルなどでも十分です。それを取り囲むように、パソコン用の椅子を移動していただくと良いと思います。

お隣同士近いほうが、より親近感が増して、良い雰囲気になります。

初回の講習は、自己紹介から始めていただくことをお奨めいたします。

第 1 章 端末の概要

1-1 端末でできること

第 1 章は、先生用テキストのみになります。

端末でできることをお話していただく前に、自己紹介を兼ねて、現在はどんな使い方をされているかを発表していただきます。(例：電話とラインだけ等)

「そうですかぁ？皆さん、それぞれにご活用されているんですね。でも、他にも、も～っといろいろな楽しみ方ができるんですよ。他にどんな使い方があるかですが、いくつか、ご紹介させていただきますね。」などとお伝えして、列挙してある項目について少し具体的にお伝えし、イメージを膨らませていただけるようにします。

できれば、先生の体験を交えてお伝えしたほうがより生き生きします。

皆さんの期待感が高まった頃に、「じゃあ、これから、毎月 1 回のペースでじっくり楽しんで行きましょうね」みたいなお声がけをして、スタートします。

「なぜ、月に 1 回なの？1 ヶ月に 1 回じゃ忘れてしまうわ。」と、おっしゃったら、「そうですねえ。忘れちゃいますよね。」と同感して、「でも、1 ヶ月に 4 回とか講習をして、次々色んなことを覚えていただくと、頭の中がこんがらがって、結局、何も覚えていないってことになってしまうんですよ。だから、1 ヶ月に 1 つのつもりで、焦らずにじっくり行きましょうね。」

「毎回、復習を入れるから、忘れちゃっても大丈夫ですからね。」

「スマホやタブレットはパソコンが小さくなっただけで、パソコンで出来ることは大抵出来ちゃうし、パソコンにできないこともできちゃったりするんですよ。」

「パソコンを数回で覚えようとする方はおられないですよ？それと一緒にするので、ゆっくり楽しんで行きましょうね。」

などなど、お話をさせていただきながら、生徒さんのお声にも必ず反応して、授業を進めていきます。

1-2 端末の種類

ここは、ごく簡単に説明します。

最初に、Wi-Fi だとか SIM だとか難しいお話をすると、拒否反応が生じる可能性もありますので、必要になった時に説明される程度が良いと思います。

第2章 端末使用前の準備

集合レッスンの場合の第1章になります。

ここからは、先生も、生徒さん用（未製本形式）をご覧になりながら、講習をされると良いと思います。

何ページの何番というご案内をされるときに、同じほうが見やすいからです。

その際、先生用テキストも手元に置いておき、生徒さん用では分かりづらそうな場合のみ、先生用テキストをお見せしていただいても良いと思います。

もちろん、口頭でご説明していただいても良いと思います。

生徒さん用と先生用の違いは、画面キャプチャが多いか（あるいは、大きいか）少ないか（あるいは、小さいか）の違いになります。

本文は、生徒さん用は省略してありますので、先生用をご覧いただき、導入として、お話ししていただいても良いかと思います。

また、参考などもカットしてある場合がありますので、必要になられたときに、先生用テキストをご参照いただいで説明していただければと思います。

2-1 電源のオン/オフ

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

2-2 バックライトの点灯/消灯

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

P.7の参考は先生のご判断でご利用ください。

実際にそういう場面に遭遇された方があったら、その場でご案内されても良いと思いますし、ある程度は、定期的に再起動を掛けたほうが良いので、その意味を含めてご説明いただいても良いと思います。

2-3 スクリーンロック（誤操作防止）について

先生用テキストとのみになります。

2-4 スクリーンロックを解除する

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

第3章 端末の基本知識

3-1 ホーム画面

先生用テキストと同じ内容になっています。

3-2 操作ボタン

先生用テキストと、ほぼ同じ内容になっています。

3-3 よく使用するタッチ操作

先生用テキストと同じ内容になっています。

3-4 タッチ操作の練習1 (タップ)

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

3-5 タッチ操作の練習2 (フリック)

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

この段階で用語を覚えていただくことせずに、タッチしたり、指をはらったりできれば十分かと思います。

第4章 端末の初期設定の変更

4-1 設定変更の必要性

先生用テキストと同じ内容になっています。

4-2 ステータスバーを表示する

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

4-3 自動回転のオン/オフ

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

4-4 GPS機能のオン/オフ

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

4-5 詳細設定の画面を開く

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

4-6 バックライト消灯時間

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思います。

ある程度、慣れた生徒さんがクラスにおられるような場合は、例えば、オマケ講義として、ステータスバーも編集できることをお伝えして、試していただいても良いかと思います。

大抵の端末の場合、鉛筆アイコンがありますので、それをタップすると、アイコンの並べ替えその他が行えるので、頻繁に使用しそうなものを上の方に並べ直しておくとお便利です。(例：位置情報、自動回転、サイレントモードなど)

第5章 インターネットを閲覧しよう！

5-1 クロームとは

先生用のテキストのみになります。

パソコンの「インターネット 1~4 (Chrome 版)」で学習したような内容は、殆どが、スマホでもできることをお伝えすると、楽しみが広がると思います。

5-2 クロームのインストールを確認する

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思っています。

5-3 ウェブページの閲覧

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思っています。

入門編は、残念ですが、Android と iOS の混合クラスは厳しいかと思っています。そのため、「アンドロイド」と頭に付けさせていただいています。

ネット閲覧ですが、何れ、パソコン用のインターネットのテキストをスマホ用に作り替えたものをご提供させていただく予定です。

そのため、入門編では、両 OS で利用できる Chrome にさせていただきました。

途中 (生徒さん用 P14④)、同期を有効にするかしないかの確認画面がありますが、パソコンでも Chrome を使われている方は、同期されると便利かと思いますが、パソコンのブックマークが多過ぎるので、同期は嫌だということでしたら、有効にされなくても良いと思いますので、その辺りは、任意選択にしてあります。

このような、ご説明を先生の言葉で付け加えていただけたらと思います。

基本操作編では、Yahoo!ブラウザを利用させていただきます。iOS の方が Safari を使われるように、2つのブラウザが使われると、非常に快適になります。

Yahoo!ブラウザの最大の利点は、頻繁に訪問するサイトをスピードダイヤルというものに登録しておくとお気に入りサイトがすぐ開くことができ、操作しやすいというのがあります。弊社の生徒さんも、全員、両使いにされていました。

第6章 キー操作による文字入力

6-1 本章の概要

先生用テキストのみになります。

普段は音声入力で行っていただくので、ここでは、どうしても音声入力できない場合に備えて学習するという旨をお伝えし、生徒さん用テキストの第6章だけは、毎回の授業時にご持参くださるようにお伝えいただくと良いかと思えます。

キー操作による文字入力を、入門編で一気に進めると、生徒さんに難しいというイメージを与えてしまいますので、一気にやられないほうが良いと思えます。

必要な都度、ご利用いただいても良いですし、中途半端に時間が余った場合などに、1項目ずつ程度進んでいただいても良いかと思えます。

6-2 Google 日本語入力とは

先生用テキストと同じ内容になっています。

日本語入力のためのアプリは、クラス全員揃えておかれる方が、今後、何かと便利ですので、拒否反応を示される方以外は、統一されると良いと思えます。

授業を進めていくうちに、皆さんと同じにしたいとおっしゃると思えますので、最初に先生の言葉で如何に便利かをお伝えいただくと良いかと思えます。

6-3 アプリのインストール

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

アプリのインストールに関しては、1ヶ月に1回のペースで学習するので、生徒さんもお忘れになることが多く、テキストを使用される順番もお教室ごとに異なるかと思えますので、毎回、最初のアプリだけは、掲載させていただきます。

6-4 Google 日本語入力の初期設定

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

第7章 文字入力

7-1 「シンプルメモ帳」とは

先生用テキストのみの内容です。

7-2 シンプルメモ帳の起動

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

7-3 日本語とアルファベットの入力の切り替え

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

7-4 ひらがなの入力

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

7-5 文字の削除

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

7-6 空白の入力

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

7-7 カーソルの移動

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

7-8 漢字の入力

生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。

ページ数の都合で割愛しますが、これ以降の項も、生徒さん用テキストで問題なく進めるかと思えます。